

大阪近鉄百貨店出店!!



2016年関西催事一発目は、大阪市の近鉄百貨店上本町店です。天下の台所と言われる大阪。美味しいものに慣れている大阪の皆様にも、自信を持って及善の蒲鉾を販売



志津川産タコたっぷり タコ揚げボール



笹かまぼこ リアスの秘伝

したいと思えます。大阪近郊の皆様、お友達等お誘いあわせの上、大阪市天王寺区「近鉄百貨店上本町店」で開催される「みちのく いいもん うまいもん」にご来場

くたさい。 期間 2月16日〜22日 会場 近百貨店上本町店 9階催事場 時間 10時〜19時 (最終日17時)

新聞 及善蒲鉾店

2月15日(月)

【発行】株式会社 及善商店 【編集】及川善弥・沼倉忠彦



2月いっぱい新幹線改札内で販売

◆1月6日〜2月29日 仙台駅3階新幹線改札内 営業時間 8時〜20時

催事中



福興市in仙台で接客する当店吉田

●2月5日〜7日 南三陸福興市in仙台駅



大宮駅 宮城産直市

●2月1日〜3日宮城産直市in大宮駅



●1月21日〜26日 東北フエアin大宮駅約一年ぶりに大宮駅での出店でした。久しぶりだねえとご来店のお客様も。

催事報告



●2月28日(日) 南三陸町ベイサイドアリーナ特設会場 9時〜14時

今月の福興市

◎三陸のものマルシェin大宮駅 3月25日〜27日10時〜20時 最終日17時

◎仙台駅宮城復興フエアin大宮駅 3月5日〜3月11日 10時〜20時 最終日19時まで



◎ルミネ川越催事 2月15日〜2月21日JR川越駅改札前 10時〜20時 最終日17時

◎大阪 みちのく いいもん うまいもん 2月16日〜2月22日 大阪近鉄百貨店上本町店 10時〜19時 最終日17時

催事予定

3月3日はひなまつり
3月3日は「ひな祭り」。女の子の健やかな成長を願い、美しいひな人形を飾ってお祝いする、日本の春の伝統行事です。古代中国では、3月3日に手で手足を洗って身を清めることで災いから逃れるという行事が古くから行われていました。それが平安時代に伝わり、人形に災いを託して川に流す「流し雛」が始まりました。そして、江戸時代から人形で遊ぶ「ままごと」がブームとなり、それに倣って人形を飾って子供の幸せを願う現在の雛人形スタイルになりました。雛人形はひな祭りが終わったらすぐに片づけなければなりません。行き遅れる!という言い伝えがあります。えがりますね?これは、一日限定で川に流していた流し雛の名残だといわれています。



南三陸町を担う新たな力
南三陸町の魅力の虜となった人物がいます。内木渉氏です。彼は震災後に南三陸町を訪れ、南三陸の町、人を好きになり、月に一度の福興市にはほぼ皆勤の参加。そしてとうとう好きが高じて南三陸町民となりました。心機一転南三陸町で生活をスタートさせたのは、並大抵のパワーでは出来ないことでした。以前彼は南三陸について「この街のすごいところは、ここに生活する方々が、ほぼ例外なく自身の住む街を深く愛しているらしいや」と語っていました。今後は南三陸町民として、現在開設している南三陸町のブログを継続し、従来通り志津川地区、移住後は歌津地区も合わせて広く情報発信をしていきたいと内木氏は語っています。



モアイ像と内木氏

今月のお魚 エゾアイナメ
エゾアイナメは三陸地方では「どんこ」という名前で親しまれ、冬が旬の魚です。青森から岩手、宮城にかけて太平洋側の三陸地方で漁獲され、見た目は少しグロくて美味しいうに見えませんが、その身は淡白でプリッとした白身の美味しい魚です。三陸地方では鍋やドンドン汁と呼ばれる郷土料理どんこ汁



郷土料理どんこ汁

ひとこと
先日、経済ジャーナリストの須田慎一郎先生の「今後の中小企業はどうなっていくのか」というテーマでの講演を聞いてきた。冒頭で、「今日はこれからの中小企業の話をして来たので、山口組の話は致しません」と周りをどよめかせ、四百人の聴衆の緊張を少しほぐしたところで、「一言。結論から言えば、今のままでは少なくとも50年前改革の一つとして、異次元の金融緩和から物価を2%上昇させ、景気を回復させるという目標があった。実はその一方で円安を図り、大手の自動車、半導体の機械製品の輸出を強化し、その利益分配で地方を潤わす考えが根底にはあったようだ。しかし、前者は失敗し、後者は成功した、かのようにだったが、実際中小企業までには全く良い影響をもたらすことが出来なかった。そこで今回、内閣はアベノミクス、セカンドステージとして、今回「二億総活躍社会」を打ち出した。そもそもファーストステージがどうなっていて、いつ終わったのかも公表せずの今回の新たな施策である。しかし日本を活性化させる方法としてはもうこれ以外無いのではないかと。人が何かをしようと動く時、多くの問題が発生すること、そこに新たな需要が生まれる。大企業には成し遂げられない小回りの利いたヘッド、ネット、フットワークを大切に挑戦していきたい。」

及川 善弥